

7 本時について

(1) 本時のねらい

清水口少年が「自分も大きくなったら兵隊になりたい」と思っていたことを考えることで、戦時中の生活はもちろん、学校教育までもが戦争に勝つこと中心であったために、人の命を尊重するという人間らしい心をもゆがめてしまう戦争の恐ろしさに気づくことができる。

(2) 本時の展開 (6 / 8)

	学 習 活 動	資 料	評価規準・評価方法	個に応じた指導・援助
つかむ (課題提示・課題化)	<p>1, 赤紙を出し、これが自分や家族に来たらどう思うか出し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・兵隊になっていくのは嫌だ。死んだり、人を殺したりするのは嫌だ。 ・家族に来たら絶対に嫌だ。 <p>2, 朝日で育ち、当時みんなと同じくらいだった清水口さんの将来の夢を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来の夢は、兵隊さんになりたいことでした。 <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">清水口少年は死ぬかもしれないのに、なぜ兵隊になりたいと思っていたんだろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・赤紙(召集令状) ・清水口少年の当時の夢 		<p>反応ができない子に赤紙が来ることでどうなってしまうのかを押さえる。</p> <p>課題を作れない子に自分の将来の夢と、清水口少年との夢との違いを考えさせる。</p>
追究する (個人追究・集団追究)	<p>4, 予想を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・兵隊はカッコいいからなりたいと思った。 ・戦争で日本が勝ってほしいと思ったから。 <p>5, 課題に対して追究する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町中に戦争中心の標語がたくさん作られ、戦争一色の世の中だったから、兵隊になることが普通の考えになったと思う。 ・みんなが心を一にして、戦争に勝つために一生懸命だったしそれが、国全体の雰囲気だったから。 ・学校の教科書に戦争のことが書いてあり、戦争に参加するということは教わっていたから。 ・前時までの学習や戦時中の教科書から、学校でも戦争について学習しているから、兵隊になりたいと思ったと思う。 ・兵隊になることは、誇りや名誉のことだからなりたいと思った。 ・国のためや天皇のために兵隊になって、戦うことが当時の最も名誉なことだったから。 ・兵隊になることは、親の希望でもあったから。 	<ul style="list-style-type: none"> ・戦時中の標語 ・戦時中の教科書 ・かたりべ(朝日村福寿会) 	<p>ウ - 戦時中の国民生活について当時の写真や資料を活用して調べ、その内容をノートにまとめたり、根拠をはっきりとさせて発言したりして、分かりやすく表現できたか。(資料読解、ノート、発言)</p>	<p>資料から考えられない子と一緒に考えていく。(戦時中の標語から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦争の標語があり、それが町中に貼られることで、みんなにどんな影響があるのかを考えるようにする。(戦時中の教科書から) ・今の教科書には戦争のことは載っていないけど、戦争のことが載っているということはみんなにどんな影響を与えるのかを考えるようにする。(かたりべから) ・当時の朝日町の人たちが戦争についてどう考えていたのかを読み取り、みんなが同じような考えであったことをつかませる。
	<p>6, 質問タイム えっと言うことを出させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・兵隊になるということは、人を殺す(自分が死ぬ)かもしれないんだ。怖くて恐ろしいのにどうして自分から兵隊になりたいって思えるんだろう。怖くないのか。 ・殺す(死ぬ)なんて思えなかったと思う。絶対に日本は戦争に勝つんだ、と思っていたと思うし、国中がそんな雰囲気だったから。 ・殺す(死ぬ)という怖さなんか感じないくらい、みんなが戦争中心の生活をしてたし、大きくなればみんな兵隊になるものだというふうにする世の中になっていたと思う。 ・でも、怖くないなんておかしいと思う。普通なら絶対怖いと思うのに、戦争によって思えなくなってしまったんだ。人間らしい心をもゆがめてしまうんだ。 			<p>質問を出させるために</p> <ul style="list-style-type: none"> ・兵隊になって戦争に行くということはどういうことなのかを考えさせ、それは人を殺すことであるし、逆に殺される(死ぬ)ということであることに気づかせる
	<p>7, 清水口さんのお話を聞く。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">学校でも家でも全てが戦争中心でした。兵隊になることはその当時としてはとても名誉なことでした。国のために天皇のために命を捧げて戦えるということは、それはすごいことでした。日本中みんなが戦争に勝つんだという思いで団結している中で、そして学校でも戦争について教えられていました。だから兵隊になることで、人を殺したり自分が死んだりするというようなことは怖いとは思っていませんでした。その当時の私たちは人を殺したり自分が死ぬといったりする恐ろしさを恐ろしいと感じなくなっていました。けれども、今では決してそうは思いません。戦争は、人の命を尊重するという人間らしい心までもゆがめてしまうものです。人と人が戦い、命を奪う戦争。そんな戦争は絶対に繰り返してはいけません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・清水口さんのその当時の思いと現在の思いについて 	<p>イ - 当時の日本の国民がおかれていた状況を、戦争を体験した人の生き方からつかみ、そうなることを広い視野から考え、適切に判断しているか。(ノート、発言)</p>	
まとめる	<p>8, 本時のまとめをする。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">世の中が戦争中心で、戦争に行くことや戦争に勝つことがいいことと教えられていたから、清水口少年も兵隊になりたいと思ったんだ。けれども、戦争は人間らしい心までもゆがめてしまうとても恐ろしいものなんだ。戦争なんて絶対にいけないものだ。</p>		<p>教科係、自己評価表を活用して相互評価、自己評価を行う。</p>	<p>書けない子には板書を見直させ、課題に対して、どうしてなりたいと思ったのかということを書くようにさせる。</p>